

別紙様式

随 意 契 約 結 果 書

件 名 及 び 数 量	北部国道管内貴重種保全検討業務
契約担当官等の氏名 並びに所属する部局 の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官沖縄総合事務局 北部国道事務所所長 石垣 弘規 (名護市大北4丁目28番34号)
契 約 締 結 日	平成19年 4月17日
契約の相手方の氏名 及び住所	日本工営(株) 沖縄事務所 沖縄県那覇市金城5丁目5番8号
契 約 金 額 (消費税及び地方 消費税含む)	38,850,000円
予 定 価 格 (消費税及び地方 消費税含む)	38,976,000円
随意契約によることと した理由	別紙のとおり
備 考	

- 注) 1. 公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。
2. 予定価格を公表しないこととした場合、予定価格の欄には「非公表」と記載する。

随 意 契 約 理 由 書

- 1 . 業 務 名：北部国道管内貴重種保全検討業務
- 2 . 履 行 場 所：北部国道事務所
- 3 . 契約の相手方：日本工営（株）沖縄事務所
沖縄県那覇市金城5丁目5番8号
- 4 . 随意契約の適用法令：会計法第29条の3第4項及び予算令第102条の4第3号

5 . 当該業務の目的：内容及び随意契約に付する理由

（１）目的・内容

本業務は、北部国道事務所の実施する道路事業を推進するにあたり、自然環境に配慮した道路構造について貴重種保全対策を検討し、今後の道路事業へ反映させる事を目的とする。

（２）理 由

本業務の履行場所である北部国道事務所管内（沖縄本島北部地域）は、世界的にも貴重な自然・動植物が残され、多種多様な種が生息・生育している地域である。

その地域環境の中で道路事業を推進するにあたり、自然環境に配慮した道路構造について検討するためには、生物に関する幅広い知識はもとより、道路建設事業における環境保全対策に関する豊富な知識・経験が求められる。

上記の事から本業務は、道路建設事業における環境アセスメントに類するものと位置付けられ、標準プロポーザル方式（総合評価型）にあたることから、「建設コンサルタント選定委員会」及び「プロポーザル方式に基づく建設コンサルタント等の特定手続き」に基づき審査審議の結果、日本工営株式会社は、優れた技術者を配置予定としていたとともに、実施方針に対する技術提案において本業務の内容を十分理解し、求める業務の必要性・重要性に対し適正に業務を行えるものと高く評価された。

よって、日本工営株式会社が本業務を遂行できる最適業者であることから、会計法第29条の3第4項及び予算令第102条の4第3号の規定に基づき随意契約を行い業務の円滑な遂行を図るものである。